

ワークショップについて

1 開催概要

平成32年度を始期とする次期計画の策定にあたり、改正社会福祉法の趣旨を踏まえ、より多くの地域住民の意見を反映した計画にするため、校区コミュニティ組織などの特定のエリアを中心に活動している団体やNPO法人、ボランティア団体等が集まり、地域の現状や課題解決に向けた取組について意見交換を行ったもの。

2 開催実績

【各回の進め方】

第1回：これまでに経験した事例や想定される事例に関する意見交換を経て、課題を洗い出しテーマごとに整理を行った。

第2回：課題解決のために現在行っている取組を踏まえ、地域の理想像を出し合い、その実現に向けた実践案を発表した。

圏 域	開催日時・会場	参加者
中央圏域	第1回：平成30年12月19日（水）19時～20時45分 第2回：平成31年 2月22日（金）19時～20時45分 会 場：鳥飼校区コミュニティセンター	26名 23名
東圏域	第1回：平成31年 1月23日（水）14時～15時45分 第2回：平成31年 3月22日（金）14時～15時45分 会 場：田主丸校区コミュニティセンター	28名 24名
西圏域	第1回：平成31年 1月24日（木）19時～20時45分 第2回：平成31年 2月20日（水）19時～20時45分 会 場：城島校区コミュニティセンター	26名 24名
南圏域	調 整 中	
北圏域	第1回：平成31年 1月16日（水）19時～20時45分 第2回：平成31年 3月18日（月）19時～20時45分 会 場：弓削校区コミュニティセンター	38名 30名

3 ワークショップで出た主な意見（地域でできること）

《人》

- 挨拶や声かけをし、相談相手になる。
- 地域行事へ積極的に参加し、たくさん知り合いをつくる。
- 見守り活動、介護予防、自治会活動など現在の活動を続ける。
- 率先して地域の役を引き受ける。

《場》

- 誰もがいつでも集まれる場（サロン等）をつくる。
- 子どもの遊び場、学び場をつくる。
- 世代問わず、誰でも参加できる楽しいイベントを企画する。
- 自治会集会所や空き家、耕作放棄地等を活用する。
- 積極的に地元の商店街で買い物をする。

《情報》

- 隣組単位で定期的な話し合いを行い、情報を共有する。
- 地域住民の情報を共有する仕組みをつくる。
- 地域と学校と施設等が連携し、情報を共有する。
- 専門職とのネットワークをつくる。
- SNS等を活用し、魅力を発信する。

《理解》

- 「人の痛み」がわかる福祉教育の充実や人権研修をする。
- 「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識を育む。
- ほどよい「おせっかい」の気持ちを持つ。
- 伝統行事を大事にし、地域への愛着を醸成する。

《災害》

- 避難訓練を実施する。
- わかりやすい避難マップをつくる。
- 災害時、早めの声かけと避難誘導時等の仕組みをつくる。
- 災害時要援護者を支援する。
- 災害時の支援等について情報を交換する。

《その他》

- 学校やボランティア団体、施設、企業等様々な団体と連携・協力する。
- 親子三世代で同居し、家族機能を強化する。
- 買い物難民、通院難民の課題を地域全体で考える。
- 地域福祉ワークショップを定期的で開催する。